

第6節 保健・福祉施設

社会福祉施設

施設名称	地区	建築年度	評価棟数	延床面積	建物性能		施設の収支		利用・稼働状況	
					老朽化率	耐震性	合計	利用者当たり	利用者数	稼働率
上野ふれあいプラザ	上野	昭和52年度	1棟	8,181㎡	92.1%	有	-44.3百万円	-455円/人	66,181人	90.0%
下柘植かがやきの郷	伊賀	平成15年度	1棟	362㎡	14.0%	有	-0.5百万円	-5円/人	2,594人	51.9%
希望ヶ丘生きがいセンター	伊賀	平成13年度	1棟	303㎡	24.3%	有	-0.7百万円	-7円/人	4,854人	80.9%
壬生野福祉ふれあいセンター	伊賀	平成13年度	1棟	372㎡	24.3%	有	-4.0百万円	-42円/人	6,799人	54.8%
韮田地区介護予防拠点施設	阿山	平成15年度	1棟	299㎡	18.9%	有	-0.5百万円	-5円/人	4,128人	86.0%
矢持介護予防センター	青山	昭和55年度	1棟	307㎡	60.0%	無	-0.1百万円	-1円/人	258人	2.5%
合計			6棟	9,824㎡	-	-	-50.0百万円	-514円/人	84,814人	-

＜施設の収支＞

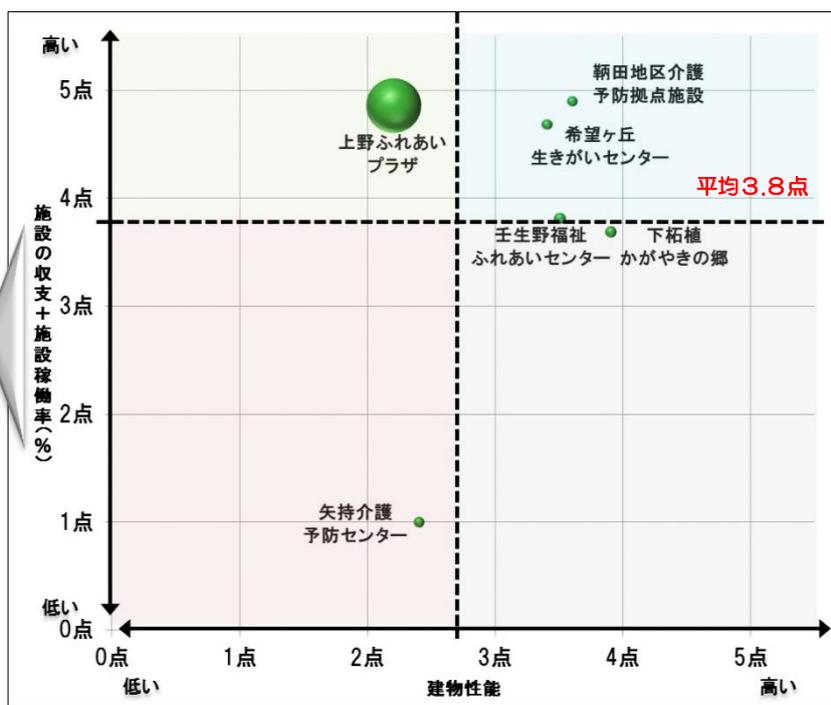
一人当たりの維持管理経費が最も小さい施設を5点、最も大きい施設を1点とし、その他の点数は数値に応じ比例配分

＜施設稼働率＞

利用定員に対する利用者数の割合が最も高い施設を5点、最も低い施設を1点とし、その他の点数は数値に応じ比例配分

＜縦軸の点数＞

(施設の収支の点数×0.3) + (施設稼働率の点数×0.7)



＜適正配置の方向性＞※34

＜協議・検討中の事項＞

- 本庁舎の整備によって、上野ふれあいプラザ2階にある本庁機能が移転する予定です。

＜今後の方向性（案）＞

- 上野ふれあいプラザは、中心市街地活性化のため、当面は1階部分を商業施設として活用しますが、2階以上の未利用スペースについては有効活用を検討します。
- 上記以外の施設では、利用者が地域に限定されているため、地元への譲渡などを検討する必要があります。
- 介護予防事業については、職員などが地域に出向くことでサービスを継続することを検討していきます。

※34 社会福祉施設の稼働率は、貸室と介護予防器具の利用定員に対する利用者実績をもとに設定しています。上野ふれあいプラザを除く施設は、介護予防器具の利用率が高いことから、定員に対する稼働率を設定している施設と比較して全体的に高くなっており、貸室のみの稼働率は低くなっています。

高齢者福祉施設

施設名称	地区	建築年度	評価棟数	延床面積	建物性能		施設の収支		利用・稼働状況	
					老朽化率	耐震性	合計	利用者当たり	利用者数	稼働率
ふくじゅえん高齢者ふくし相談室	上野	平成7年度	1棟	112㎡	40.5%	有	-	-	953人	94.0%
柘植老人憩いの家	伊賀	昭和41年度	2棟	575㎡	50.6%	無	-11.2百万円	-1,027円/人	10,953人	92.0%
新堂元気老人ステーション	伊賀	平成16年度	1棟	297㎡	16.2%	有	-0.4百万円	-160円/人	2,750人	85.9%
島ヶ原老人福祉センター	島ヶ原	平成6年度	1棟	1,638㎡	32.0%	有	-8.1百万円	-1,237円/人	6,567人	12.9%
大山田福祉センター	大山田	平成15年度	1棟	821㎡	18.9%	有	-1.7百万円	-382円/人	4,563人	8.2%
伊賀の国大山田温泉 屋根付ゲートボール場「こころの丘」	大山田	平成14年度	1棟	1,972㎡	21.6%	有	-1.8百万円	-18円/人	6,343人	12.6%
伊賀の国大山田温泉 「ふれあいプラザさるびの」	大山田	平成12年度	1棟	141㎡	42.0%	有	-1.8百万円	-18円/人	6,343人	91.3%
青山福祉センター	青山	平成12年度	1棟	1,842㎡	20.0%	有	-6.3百万円	-278円/人	22,557人	39.3%
合計			9棟	7,398㎡	-	-	-31.3百万円	-514円/人	61,029人	-

＜施設の収支＞

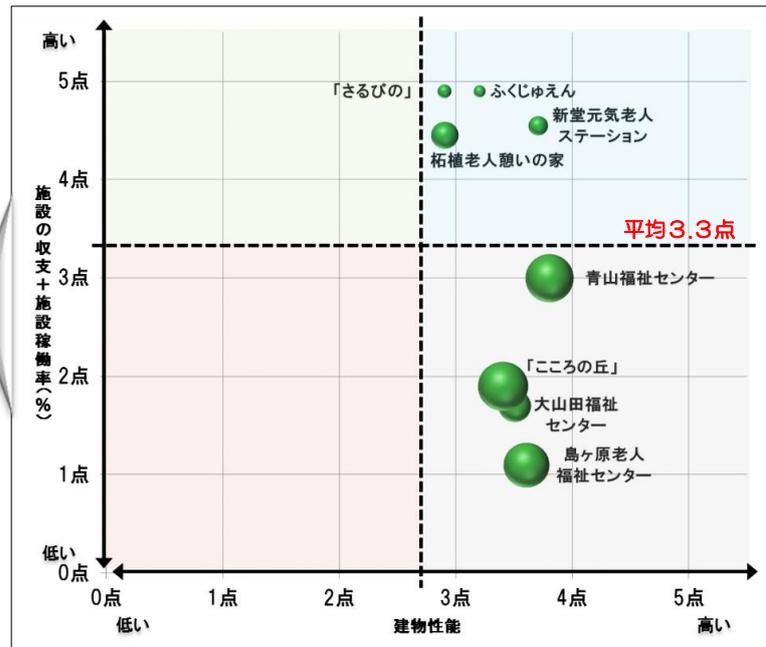
一人当たりの維持管理経費が最も小さい施設を5点、最も大きい施設を1点とし、その他の点数は数値に応じ比例配分

＜施設稼働率＞

利用目標に対する利用者数の割合が最も高い施設を5点、最も低い施設を1点とし、その他の点数は数値に応じ比例配分

＜縦軸の点数＞

(施設の収支の点数×0.3)
+ (施設稼働率の点数×0.7)



＜適正配置の方向性＞※35

＜協議、検討中の事項＞

- ・ ふくじゅえん高齢者ふくし相談室は、民間への譲渡を見据え、当面は相談業務等を実施する民間への貸し付けを行います。

＜今後の方向性（案）＞

- ・ 福祉センターは、社会福祉法人によるデイサービス事業の拠点としての利用が中心で行政目的での利用が少なく、施設の修繕費などは市も負担していることから、施設のあり方を検討する必要があります。
- ・ 福祉センターを継続して維持していく場合には、周辺施設との多機能化や未利用スペースの貸出しなどによる有効活用を検討していきます。
- ・ 社会福祉業務については、活動場所を限定する必要がないため、福祉センター以外の施設への機能移転が考えられます。
- ・ 現行の使用料の見直しを図り、受益者負担の適正化を検討する必要があります。

※35 高齢者福祉施設は、貸室と介護予防器具の利用目標に対する利用者実績をもとに設定しています。柘植老人憩いの家及び新堂元気老人ステーションでは、介護予防器具の利用率が高いことから、定員に対する稼働率を設定している福祉センターと比較して稼働率が全体的に高くなっており、貸室のみの稼働率は低い傾向にあります。

障がい者福祉施設

施設名称	地区	建築年度	評価棟数	延床面積	建物性能		施設の収支		利用・稼働状況	
					老朽化率	耐震性	合計	利用者当たり	利用者数	稼働率
盲人の自立支援										
盲人ホーム	上野	平成6年度	1棟	146㎡	32.0%	有	-1.5百万円	-8,108円/人	185人	3.1%
共同生活介護支援施設										
伊賀ホームほほえみ	伊賀	平成14年度	1棟	195㎡	100.0%	無	-1.9百万円	-1,105円/人	1,715人	94.0%
阿山ホームかざぐるま	阿山	平成18年度	1棟	197㎡	18.4%	有	-2.5百万円	-3,718円/人	667人	36.5%
障がい者支援多機能型事業所										
きらめき工房いが	伊賀	平成12年度	1棟	475㎡	27.0%	有	-5.1百万円	-944円/人	5,389人	88.3%
きらめき工房あおやま	青山	平成16年度	1棟	318㎡	25.2%	有	-3.9百万円	-1,170円/人	3,298人	90.1%
合計			5棟	1,330㎡	-	-	-14.8百万円	-1,317円/人	11,254人	-

＜施設の収支＞

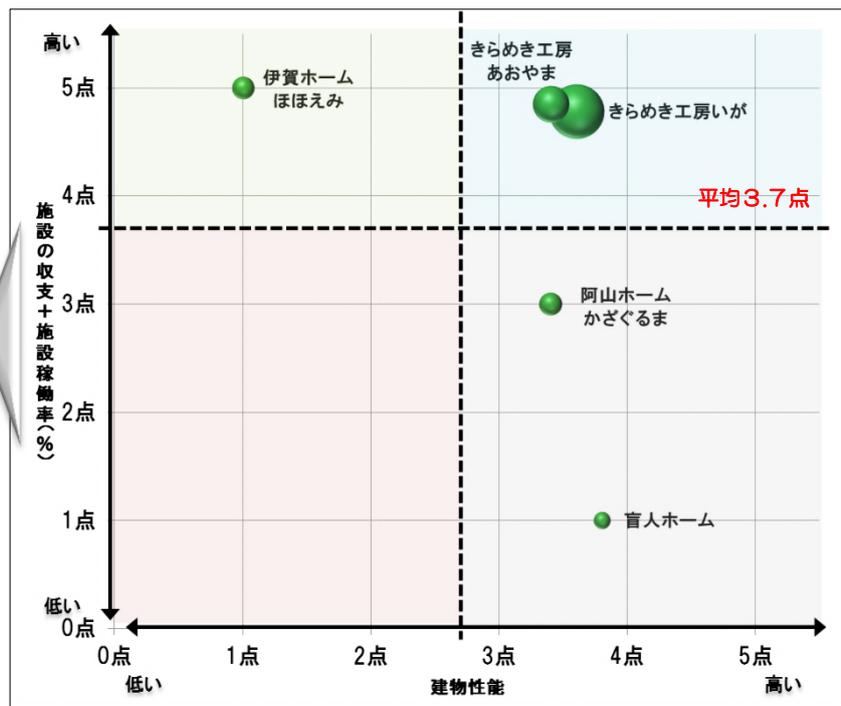
一人当たりの維持管理経費が最も小さい施設を5点、最も大きい施設を1点とし、その他の点数は数値に応じ比例配分

＜施設稼働率＞

利用定員に対する利用者数の割合が最も高い施設を5点、最も低い施設を1点とし、その他の点数は数値に応じ比例配分

＜縦軸の点数＞

(施設の収支の点数×0.3) + (施設稼働率の点数×0.7)



＜適正配置の方向性＞

＜今後の方向性（案）＞

- ・ 盲人ホームは、県内で唯一の施設であり、市が事業主体であることを条件に運営費の4分の3程度の運営補助金が交付されているため、当面は直営での運営を継続していく方向性となっています。
- ・ 共同生活介護支援施設及び障がい者支援多機能事業所は、障がい者自立支援法に基づく施設であり、国からの自立支援給付金で運営費の8割を補てんしており、当面は指定管理での運営を継続していく方向性となっています。
- ・ 社会福祉法人や NPO 法人によって運営されている施設もあることから、今後は民間によるサービスの提供も検討していきます。
- ・ 民間運営施設との比較で使用料金に差があることから、適正化を検討する必要があります。

保健施設

施設名称	地区	建築年度	評価棟数	延床面積	建物性能		施設の収支		利用・稼働状況	
					老朽化率	耐震性	合計	利用者当たり	利用者数	稼働率
ハイトピア伊賀公共公益施設(4階)保健センター	上野	平成23年度	1棟	1,134㎡	0.0%	有	-	-	-	-
健診センター	上野	平成18年度	1棟	2,090㎡	8.0%	有	22.4百万円	3,484円/人	6,422人	85.6%
いがまち保健福祉センター	伊賀	平成9年度	2棟	3,247㎡	26.0%	有	-14.2百万円	-833円/人	17,086人	66.2%
阿山保健福祉センター	阿山	平成11年度	1棟	2,919㎡	22.0%	有	-16.7百万円	-990円/人	16,835人	83.2%
青山保健センター	青山	平成16年度	1棟	1,350㎡	12.0%	有	-37.4百万円	-3,443円/人	10,873人	83.2%
合計			6棟	10,740㎡	-	-	-46.0百万円	-897円/人	51,216人	-

<施設の収支>

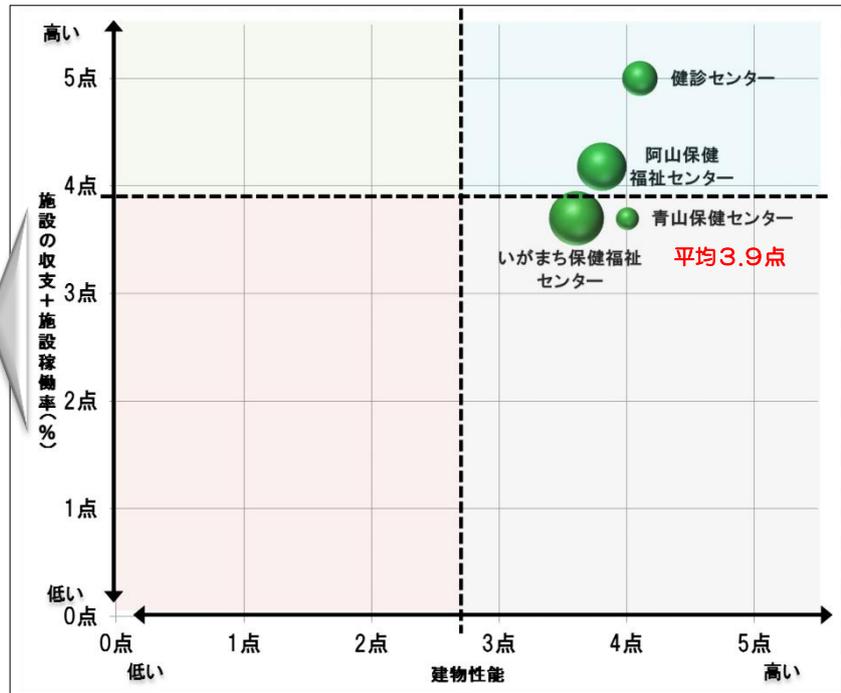
一人当たりの維持管理経費が最も小さい施設を5点、最も大きい施設を1点とし、その他の点数は数値に応じ比例配分

<施設稼働率>

利用目標に対する利用者数の割合が最も高い施設を5点、最も低い施設を1点とし、その他の点数は数値に応じ比例配分

<縦軸の点数>

(施設の収支の点数×0.3) + (施設稼働率の点数×0.7)



<適正配置の方向性> ※36

<今後の方向性(案)>

- 保健業務の拠点として保健センター（ハイトピア伊賀）※37が整備されたことで、他の保健センターのあり方を検討する必要があります。
- 将来的な人口減少に伴い、保健業務の需要減少が予測されることから、必要に応じて施設の統合などを検討する必要があります。
- プールやトレーニングルームなどの維持管理経費が大きい設備は、利用率の向上や運営の見直しを検討する必要があります。
- 建物が比較的新しく、大規模な施設が多いため未利用スペースなどがある場合には、周辺施設の機能を集約していくことを検討する必要があります。
- 現行の使用料または減免利用の見直しを図り、受益者負担の適正化を検討する必要があります。

※36 保健施設の稼働率は、定員の設定が困難なため、目標利用者数（平成21（2009）年度の事務事業評価シートなどの数字を採用）に対する利用者実績をもとに設定しています。そのため、定員に対する稼働率を設定している施設と比較して全体的に高くなっています。

※37 ハイトピア伊賀は、平成24（2012）年度に供用開始した施設であり、収支や利用者の情報がないことから、施設評価の対象から除いています。

診療所

施設名称	地区	建築年度	評価棟数	延床面積	建物性能		施設の収支		利用・稼働状況	
					老朽化率	耐震性	合計	利用者当たり	利用者数	稼働率
山田診療所 (大山田保健センター)	大山田	平成4年度	1棟	1,056㎡	36.0%	有	-1.5百万円	-140円/人	10,463人	91.7%
阿波診療所	大山田	昭和52年度	1棟	400㎡	89.1%	無	-7.7百万円	-1,829円/人	4,193人	68.7%
霧生診療所	青山	平成6年度	1棟	83㎡	67.2%	有	-0.9百万円	-1,610円/人	584人	81.1%
合計			3棟	1,539㎡	-	-	-10.1百万円	-661円/人	15,240人	-

<施設の収支>

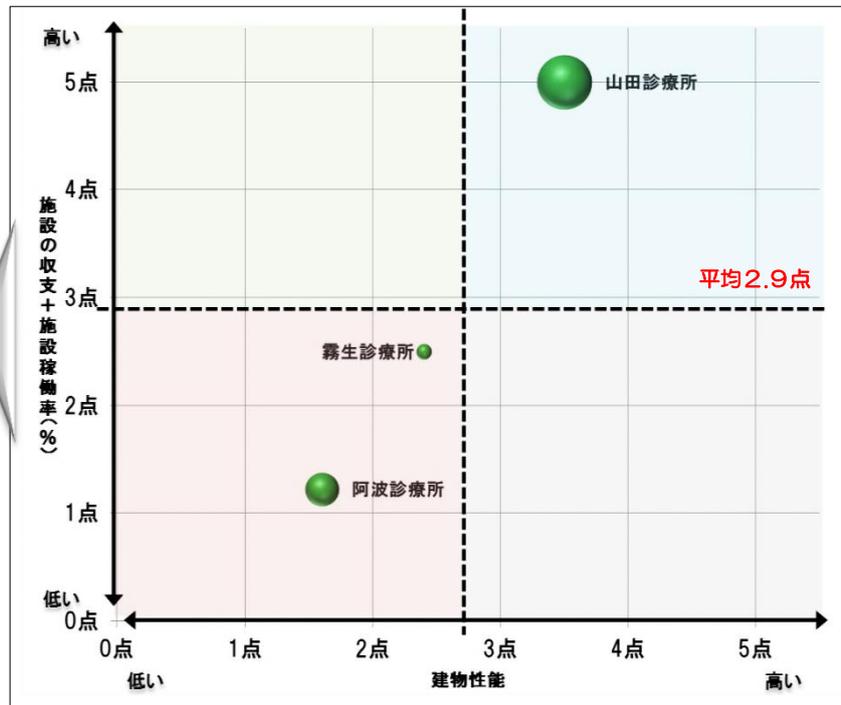
一人当たりの維持管理経費が最も小さい施設を5点、最も大きい施設を1点とし、その他の点数は数値に応じ比例配分

<施設稼働率>

利用定員に対する利用者数の割合が最も高い施設を5点、最も低い施設を1点とし、その他の点数は数値に応じ比例配分

<縦軸の点数>

(施設の収支の点数×0.3) + (施設稼働率の点数×0.7)



<適正配置の方向性>

<協議、検討中の事項>

- ・ 合併の前後に、上野地区や諏訪地区の診療所を閉鎖したことから、現在市内の国保直営診療所は3施設となっています。
- ・ 霧生診療所は、医師の高齢化などにより一時閉鎖しましたが、地域の要望により再開した経緯があります。

<今後の方向性(案)>

- ・ 県のへき地指定診療所に指定されている施設については、効率的な経営により赤字幅を縮小していくための検討が必要です。
- ・ 施設の更新にあたっては、整備時の補助金や起債による制約などに留意しつつ、周辺施設への機能移転などを含めて検討していきます。